

事 業 計 画 書

事 業 名	ぬまづ夏空音楽祭
実 施 場 所	プラサ ヴェルデ 屋上庭園
実施予定期間	※イベントや研修会等の当日だけでなく、準備期間・実績の取りまとめ期間等も含めて記載してください。 令和7年6月1日～令和7年9月30日

◎事業概要

※事業の概要を100～200字で簡潔に記載してください（事業の紹介などで使用します）。

プラサ ヴェルデの屋上庭園を活用し、開放的な夏空の下でアコースティック音楽を楽しむ音楽祭を開催する。8月16日・17日の2日間、地元アーティストの演奏を中心には、飲食ブースや子ども向け体験コーナーも設置し、多世代が集まる交流の場を創出する。駅北側エリアの賑わい創出と、屋上庭園の新たな活用モデルの確立を目指す。

◎目的

※事業を行うきっかけ（地域の問題点や課題、社会背景など）と、その解決のために何をするのかを記載してください。
 沼津駅北側エリアは、市の玄関口でありながら駅南側と比べて賑わいが少なく、魅力発信が課題となっている。また、プラサ ヴェルデの屋上庭園は、富士山も望める特色ある空間であるにもかかわらず、認知度に課題があり更なる活用が求められている。本事業は、この屋上庭園の魅力を最大限に活かした音楽イベントを開催することで、地域の賑わい創出と文化振興を図り、新たな交流の場を生み出すことを目的とする。

◎実施内容

日 程	実施項目・作業項目
	※イベントや研修会等の行事日程だけでなく、実施内容（打合せ・会議・資料作成・参加者募集・準備・検討会）、実施場所、参加対象、人員配置、役割分担など、事業期間すべてにわたる実施内容を記載してください。 ※ハード部門については、12月31日までに施設整備を終え、その後は施設を活用する計画としてください。
6月上旬	実施計画詳細策定、出演者・出店者への打診・交渉開始
6月中旬	出演者・出店者の決定、広報戦略の策定
7月上旬	広報物（チラシ・ポスター等）のデザイン制作
7月中旬	広報活動開始（SNS発信、チラシ配布等）、備品・機材手配
7月下旬	出演者との詳細打ち合わせ、進行台本作成
8月上旬	会場レイアウト最終確認、運営スタッフ・ボランティアスタッフ説明会
8月15日	会場設営
8月16日	1日目開催
8月17日	2日目開催
8月18日	会場撤収・清掃
8月下旬	振り返り会議、会計処理
9月下旬	出演料・委託料の支払完了、報告書作成
	※16日はプロ・アマチュアミュージシャンによるアコースティックライブとして15:00～20:00を目途に実施。地元飲食店による出店も行う。 ※17日は家族向けプログラムとして、参加型ワークショップや子ども向け遊び体験コーナーを追加設置。 ※縁日等のキッズコーナーや、地域団体・学生グループの活動紹介スペースも設置。

◎事業効果

※事業の実施により、期待される効果を記載してください。

1. プラサ ヴェルデ屋上庭園の認知度向上と新たな活用方法の提案
2. 沼津駅北側エリアの集客力向上と地域活性化への寄与
3. 地元音楽家や飲食店の活動支援と新たな交流の場の創出
4. 多世代が交流できる文化的イベントによるコミュニティ形成
5. プラサ ヴェルデを核とした新たな市民参加型イベントモデルの構築

	※事業効果を客観的に評価できるよう、具体的な数値等を用いて成果指標を設定してください。 ・来場者数：2日間で延べ800人以上 ・地元出演者・出店者数：15団体以上 ・参加者満足度：アンケートで「満足」「やや満足」の回答が80%以上 ・メディア掲載：地方紙、地域情報誌、地域TV等での取り上げ3件以上	指標の検証方法	※左記指標の検証方法を記載してください。 ・来場者カウント ・出演者・出店者の参加数実績記録 ・来場者アンケートおよび出演者出店者調査の実施と分析 ・メディア掲載実績の記録
--	---	---------	--

◎評価の視点に合致していることの説明

※評価の視点については、募集の手引きを必ず確認して下さい。

社会的必要性	※まちの活性化や魅力づくりのために有益であり、不特定多数の利益につながる質の高い事業であるか。プラサ ヴェルデの屋上庭園という特色ある公共空間の活用度を高め、地元アーティストの発表機会創出と文化振興を通じて、より魅力的で活気ある地域社会形成に貢献する必要性の高いイベントです。若者やファミリー層の文化的ニーズに応えるイベントとして社会的意義を生み出すとともに、多様な背景を持つ市民の相互理解を促進します。
地域性	※地域課題の解決や地域資源の活用につながり、地域住民を巻き込めるか。沼津駅北側エリアの賑わい創出という課題解決に直結しています。屋上庭園の空間を活かし、周辺からも視認できるイベントとすることで、エリア全体の注目度を高めます。地元音楽家や飲食店など地域の事業者と連携することで、経済効果も含めた地域活性化を実現します。また、移住者や外国人、高齢者、障害者の方など地域住民が気軽にイベントに参加する機会を設けることで、相互理解と地域への愛着醸成にも寄与します。
独創性	※申請者ならではの着眼点や個性が見られ、新規性、チャレンジ性があるか。コンベンション施設の屋上庭園という通常はイベント会場として活用されていない空間での開催が最大の特徴です。通常の野外音楽イベントとも異なる、緑あふれる庭園での音楽体験は、他のフェスには無い価値を提供します。また、アコースティック音楽に特化することで、自然環境と調和した音楽空間を創出し、喧騒から離れた音楽体験を実現します。施設の指定管理者だからこそ実現できる専門的な音響・照明設備の活用や、快適な休憩スペースの確保など、来場者の満足度を高める細やかな配慮も差別化ポイントとなります。
実現性	※資金やスケジュール、法令順守、関係者との調整に問題がなく、予算や効果が適正であるか。指定管理者として日常的に施設運営を行っているため、会場利用や安全管理などの面で確実な実施が可能です。機材調達や出演者手配も既存のネットワークを活用して効率的に行うことができます。予算計画も実績に基づいて検討しており、費用対効果の高いイベント運営を実現します。また、荒天時の代替案としてコンベンションホール（代替会場）の確保といった具体的な対策準備もしております、リスク管理も万全です。

発展性	<p>※事業の波及効果が見込まれ、意欲をもって主体的かつ継続的な活動ができ、資金確保への取り組みも十分か。</p> <p>初開催の成果を踏まえ、「This is NUMAZU」や「ぐるぐる NUMAZOO フェスタ」といった既存の市内イベントとのコラボレーションを模索します。また、コンベンション施設としての本来の機能を活かし、会議や展示会の利用者との相乗効果を生み出すプログラム開発も検討していきます。例えば、施設利用者が音楽祭に参加、出店したり、逆に音楽祭をきっかけに施設利用につなげたりするなど、施設の本来機能と連動した発展性を持たせることができます。さらに、本イベントが長く続けば、年を追って鉄道高架化の進捗とイベント開催の様子がリンクしていくなど発展性が考えられます。市民からの意見を取り入れながら継続的に改善を図ることで、より地域に根差したイベントへと成長させていきます。</p>
-----	--

◎次年度以降の活動予定

※ソフト部門（ステップアップ型）新規または2回目の応募で、助成の継続（最大3年まで）を希望する場合は、今後の活動予定と事業継続のための戦略について記載してください（今回の応募が次年度以降の助成を約束するものではありません）。

初年度の実績と課題を踏まえ、次年度以降は地域に根付いた恒例イベントとして成長させることを目指します。具体的には、初年度の参加者や協力者を中心とした「実行委員会」を立ち上げ、市民主体の運営体制を段階的に構築します。

2年目は出演者規模を拡大し、プログラムの充実を図ります。また、地元企業5社以上からの協賛獲得を目標とし、物品販売や出店料などを含めた自主財源の確保にも取り組みます。

3年目には実行委員会の自立運営を実現し、補助金比率を50%以下に抑えることを目標とします。アーティストや来場者のネットワークを活かし、沼津駅北側エリアの定期的な文化イベントとして定着させ、地域活性化の核となるモデルケースを確立します。

◎実績の評価と改善点（継続事業のみ）

※継続事業については、過去の実績に対する自己評価と実績を踏まえた改善点等について記載してください。